



(社)建設コンサルタンツ協会 九州支部 夢 アイデア実現プロジェクト

# 思い出 NAVI

- 昔のまちの風景を見て、まちを身近に感じたい -

都会のまちの風景は変わりやすい。  
 少し前まであった雰囲気のいいお屋敷が  
 コインパーキングに変わっていたり、  
 好きだった路地の店が  
 まるごと商業ビルに変わっている。  
 そして自分が好きだった界隈の空間を忘れ、  
 いつしか変わってしまったまちの風景に慣れていく。

昔のまちの風景がおさめられた写真を見ると、  
 なぜか懐かしい気持ちになる。  
 昔を知らないまち・自分が住んだことのないまちでも、  
 当時のまちに思いを馳せ、愛着が湧いてくる。  
 散歩や買い物の途中でも昔のまちの風景に触れることが  
 出来ると、きっとまちが好きになる。

昔の風景写真を、今の風景と合わせて見ることができる  
 「思い出 NAVI」で、もっとまちを身近に感じたい。

## 思い出 NAVI の仕組み

- <1> 思い出を持ち寄る  
 まちの様子分かる昔の写真を集め、そのエピソードやコメントを付ける。
- <2> 現在の様子を確認  
 集まった写真をもとに、現地の場所を確認。
- <3> プロジェクターの設置  
 まちなかで小型プロジェクターを設置できる場所・投影が可能な場所を確認し、設置。
- <4> スライドショーの作成  
 集めた写真とエピソード、設置箇所をもとに写真スライドムービーを作成。
- <5> 思い出 NAVI マップの作成  
 設置箇所を地図に落としマップを作成し、ツアールートを設定。まち歩きツアーを実施する。



主催：(社)建設コンサルタンツ協会 九州支部 夢 アイデア実行委員会 <http://www.jcca.or.jp/kyokai/kyushu/dream/>  
 協力：九州旅客鉄道株式会社、九州電力株式会社、西日本鉄道株式会社、御供所まちづくり協議会



写真：福岡市博物館所蔵

## ■ 思い出NAVIの特徴

### 1. 歴史・風景の発掘を通じた魅力再発見（温故知新）

地域には、目には見えない歴史や文化があります。普段、見ようとしなければ見えない地域の歴史や文化を「思い出NAVI」を通して可視化することで、地域の新たな魅力を再発見することができます。

### 2. 変わりゆく町並みの記録（デジタルアーカイブ）

まちの写真を集め、場所別・年代別に整理することで、今後観光・まちづくりの取り組みや地域学習での使用ができるような、デジタルアーカイブとして写真を残していくことができます。また、「思い出NAVI」の中で写真収集を呼びかけることで、家庭に眠る写真も集めていくことができます。

### 3. 「訪れてよし」「住んでよし」のまちづくり（仕掛け・仕組みづくり）

地域の歴史を知ることは観光客だけでなく、移り住んで間もない人にもまちに愛着が湧くきっかけになります。まちなかで、日常生活の中で、自然に地域の歴史に触れることができる仕掛けをつくります。

## ■ 思い出NAVI 実施予定箇所



## ■ 夢 アイデア「思い出NAVI」提案者からのメッセージ

「思い出NAVI」プロジェクトは、地域みんなが一体化するための心の拠り所として機能してくれれば、機材は何でもよいのだ。「思い出NAVI」をきっかけにみんなが結束して、まちづくりの機運を高めることにつながれば…。

今、通っている道は、江戸時代からある道だった、あの建物は明治時代からある古いものなんだ、この橋は昔、木の橋だったんだ…など、まちの小さな発見、驚きがそこかしこに散らばるとまちを歩くことが楽しくなるだろう。

地域の歴史や物語は、様々な世代の感情に訴える力があるに違いない。

これにより、その場所を通った人たちが「そこに居た、そこで暮らした ある人の思い出」を共有化し、今よりももっとまちが好きになるきっかけづくりができればと思う。

（清角知子氏：夢 アイデア企画「第6回まちづくりに関する提案の募集」より）